



JAMCA ニュース

No.68

2011年1月1日

発行
協会事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

編集事務局

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

若者たちに「大志」呼びかけよう

全国自動車大学校・整備専門学校協会 会長
関東工業自動車大学校 理事長

中川 裕之

新年おめでとうございます。

年頭にあたり、今後、JAMCAの進むべき方向と理念について決意を述べたいと思います。

極めて激しい国際競争に象徴される、グローバル化の波がわが国をのみ込み、日本人の価値観、国家としての価値観まで大きく変化することになりました。

すべてにおいて「経済」が優先し、その結果として「金融」が世界を支配するという人類が今までに経験したことの無い未知の世界に突入して、国家そのものがその金融をコントロールすることによって成立しているのです。

この変化は、GMの崩壊～再建に見られるごとく、「自動車産業界」にも大きな変革を与え、当然に「自動車整備士」に対する価値観も大きく変化させています。

従来、わが国の戦後復興を目的とし、自動車産業界を基幹産業として位置づけるべく、官民一体となり必死の努力を重ねていたときの「自動車整備士」は、「車を修理すること」が第一義的な使命でありました。当然の帰結として、「自動車整備士」は、国家資格であるにもかかわらず、社会からはエンジニアとしてではなく、「修理工」として認識されました。

「整備士」社会認識の変革を

しかし、国家が成熟し、その成長が著しく鈍化した現在、自動車整備士の使命、価値観も変化しなければ

なりませんし、国家の要求はすでに変化しているのです。

「自動車整備士」は、国民の生命と安全、加えて地球の環境をもコントロールすることが、第一義的使命であり、「車を修理する」ということは、その為の手段でなければならないのです。

この価値観の変化を社会は全く認識していません。「自動車整備士」は、いまだに、「修理工」なのです。「自動車整備士」は、「修理工」ではなく、「国民の生命と安全、環境をコントロールするエンジニア」という本来の使命を正しく社会に伝え、理解してもらえない限り、豊かに育った現代の若者たちに「自動車整備士」は決して魅力のあるものにはなりません。

このことは、事実が証明しています。JAMCAに進学する学生が減少の一途をたどっています。大学には無試験で入学できますが、その後の就職は極めて難しいゆえ、フリーターやニートが激増しているにもかかわらず、若者は、就職の確実な自動車大学校よりも、一般の大学を選択するのです。つまり、「自動車整

備士になること」は、フリーターやニートでいるよりも、若者にとっては、「好ましくないこと」になっているのです。

今こそ新システム構築の時

学生の減少と質の低下は、自動車産業界、わが国の車検制度に極めて大きな影響を与えます。学校経営の問題にとどまらないことは、周知の事実であります。

今こそ、自動車産業界が一丸となり、若者たちに「大志」を呼びかけ、自動車産業界において、彼らの自己実現を可能にする、新しいシステムを構築すべき時であると思います。

新しいシステム構築には、障害も予想されますが、わが国の将来を担う若者たちに自動車産業界での「夢と希望」を持たせ、結果として、国民の生命と安全、環境がコントロールできるという信念で取り組むことができれば、すべてが解決すると思います。

人材の確保は、自動車産業界全体の緊急課題なのです。

■ CONTENTS ■

- 2面 業界を変える原動力
- 3面 我が校自慢
- 4面・5面 専門学校における第三者評価の意義
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍!! 卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記